

技術の研さんと振興へ

東北建設マネジ
メント技術協会

東北建設マネジメント技術書を提出し、それに基づく建設マネジメント技術に
術協会(秋葉敬治代表理事)意見交換も開く予定だ。関連した人材育成や広報活

は2025年度定時社員総会を仙台市青葉区の東京エ「重要性を増しているイン動を展開する。東北土木技
レクトロンホール宮城で5フラDXをはじめ発注者の術人材育成協議会主催の研
月26日に開き、事業計画・要求に応えられるよう技術修や若手技術者のリレート
予算を承認した。建設マネ力の研さんに励み、備えるーク、東北整備局と共催す
ジメント技術の研さんと振必要がある」と強調した。写真パネル展も継続。本
興に向けた意見交換や技術展させるため「東北整備局の駅などで建設業の魅力を
者の地位向上、生産性の向幹部との意見交換会や代表アピールする。
上を目指し活動する。16日管理技術者会議などの内容をこれまで以上に充実させ
には建設投資・予算の確保をこれまでに充実させたい」と方針を述べた。
東北地方整備局に要望事項



総会

末尾の数字
は開催月日

技術研さんを実践

東北建設マネ技協

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は、仙台市の東京エレクトロンホール宮城で2025年度定時社員総会を開き、建設マネジメント技術の研さん



ん・振興に向けた25年度事業計画を確認した。

秋葉代表理事は、昨年7月に逝去した柴田久業務執行理事と今年2月に急逝した小林和雄理事に哀悼の意を表した上で、宮城と山形で開催し、延べ約3700人を集客した「工事のみりよく写真展」をはじめとする昨年度の活動を振り返り、「協会の設立趣旨である建設マネジメント技術の研さんを図る事業を実践し成果につながった」と話した。写真展。

今年度は、東北地方整備局との意見交換会や代表管理技術者会議など、例年行っている事業のさらなる内容充実を図るほか、宮城と福島で「工事のみりよく写真展」を開く。

(5・26)

2025年度総会ダイジェスト

実力向上と連携強化を重視

東北建設マネジメント技術協

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は5月26日、仙台市の東京エレクトロンホール宮城で2025年度定時総会を開催し、東北地方整備局に対する要望事項などを決議した。

秋葉代表理事は整備局からインフラDXの推進や発注者支援業務への期待が示されたことを受け、「実力向上に励み、要求に応えられるよう準備が必要」と述べた。また「東北地方整備局との意見交換会や代表技術者会議などについて、内容をこれまで以上に充実して実施したい」と力を込めた。

同協会は東北整備局に対する見通しだ。

し、複数年度にわたる業務委託契約における設計変更の容認など10項目の要望を提出する予定。特に重要な要望として、保有資格を業務要件とする案件において、当該資格取得に向けた実務経験として業務経験を認定することなどを盛り込んでいる。

現行の国債活用による複数年契約では、契約期間中に技術者単価が上昇しても初年度の契約条件が維持され、工事案件で適用されるインフレスライド制度も対象外となっている。このため、契約2年目以降における設計変更契約の実現を強く求めている。これらの要望は、6月16日に開催予定の東北整備局との意見交換会において正式に提出され

本年度の事業計画については、建設マネジメント技術の向上と普及を目的とした意見交換活動やインフラDX関連の研修会・講習会の実施を予定している。また、写真パネル展示による協会活動のPR推進や、業務実施過程で生じる課題の抽出を狙いとしたアンケート調査も行う。さらに、建設マネジメント業界のニーズ分析と必要技能の研究開発にも取り組む方針を示した。



秋葉代表理事